

## 57 日本酒等のユネスコ無形文化遺産登録に向けた検討

### 日本酒のグローバルなブランド戦略に関する検討会 中間とりまとめ（令和元年12月25日）

※日本酒の輸出拡大やブランディング推進などの検討を行う国税庁の有識者会議（文化庁もオブザーバー出席）

ユネスコ無形文化遺産への登録【文化庁、国税庁】

「稼ぐ文化」の柱の一つとして、日本酒等のユネスコ無形文化遺産への登録に向け、検討を開始する。

### 成長戦略フォローアップ（令和2年7月17日閣議決定）

日本酒等のユネスコ無形文化遺産への登録を視野に調査を2020年度中に開始する。

### 菅総理大臣施政方針演説（令和3年1月18日第204回通常国会）

日本酒、焼酎などの文化資源について、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指します。

文化庁が行う醸造技術などの調査に協力し、日本酒造組合中央会等とも連携して、令和2年度第3次補正予算による調査及び保存・活用体制の整備に取り組み、登録に向けた検討を加速する。

（参考）食文化振興の動き

平成25年「和食；日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産への登録

令和2年4月 文化庁参事官（食文化担当）設置

食文化の基本政策をとりまとめるとともに、地域活性化に資する食文化振興や、海外への食文化発信に、関係省庁と連携して取り組む。

## 58 国税庁による技術支援①

### 製造技術基盤の強化

#### 酒類製造者からの技術相談



#### 臨場による相談

製造者のところに臨場し、現場における技術的課題を把握し、解決策を提案



#### 面談等による相談

製造者が有する技術的課題について、面談等による相談に応じ、解決策を提案



#### 成分分析

成分分析により、酒類の特徴や問題点を把握し、結果を製造者に提供



#### 品質評価（きき酒）

品質評価により、製造及び品質管理上の技術的課題を把握し、結果を製造者に提供

#### 酒類鑑評会



#### 品質審査

地域特性にも配慮した品質審査会を実施し、技術的課題を明確化



#### 出品酒の展示

製造者が出品酒をきき酒し、トレンドや技術的課題に気づきを得る場を提供



#### 技術講演会

技術講演会を開催し、製造者の技術力の強化を図る



#### 品質評価会・成分分析

製品の品質評価及び成分分析を通じ、製造者の技術力の強化を図る

## 国税庁による技術支援②

### 先端技術の普及

#### 技術講習会・講話会



小規模ビール等製造者のための製造・品質管理のポイント

最高の製品を造り届けるために  
東京国税局課税第二部鑑定官室

#### 講師派遣

酒造組合主催の講習会等で技術情報や先端技術を周知

#### 技術資料の配布

品質向上に資する技術資料を作成し、製造者に配布

### 技術者の育成

#### 醸造研修



#### 講師派遣

酒類総研等主催の酒類醸造講習等に講師を派遣し、醸造技術者を養成

### 技術情報の発信

#### 全国市販酒類調査



#### 技術的な基礎データを公表

流通する市販酒類を買上げ、品質評価や成分分析を実施し、結果を国税庁HPIに公表

### 酒類の品質及び安全性の向上

#### 地理的表示品質審査会



#### 審査員派遣

地理的表示審査会に審査員を派遣し、ブランド化を支援

#### 国際規制への対応



#### 技術指導

メタノールなどの国際規制に対応するための技術指導を実施

#### 法令への対応



#### HACCP導入への技術支援

リーフレット配布、相談対応等により、製造者のHACCP導入を支援

### 関係機関との連携

#### 全国指導機関合同会議



#### 指導機関間の技術情報の共有

全国の指導機関・酒類総研と技術的課題を共有し、解決を図る

## 59 酒類総合研究所による技術支援①

### 酒類醸造講習による技術者の育成

- 酒造技術や経営に係る知識の習得、最新の研究成果の紹介を実施
- 清酒、本格焼酎・泡盛、ビール、ワインの各コースを各業界団体と共催で実施
- 受講希望者の多い業界からの要望を受け、ビール、ワインについては短期コースも追加



製麹実習(清酒コース)

### 鑑評会等による業界支援

- 全国新酒鑑評会及び本格焼酎・泡盛鑑評会では、酒造組合との共催で実施し、技術力の研鑽に寄与
- 酒類の品質及び酒造技術の向上に資するため、出品酒の分析値等を出品者に通知し、製造技術研究会において出品酒を公開



本格焼酎・泡盛鑑評会審査



製造技術研究会

### 輸出酒類に関する分析等

- 国税局と協力して、輸出先国から求められる酒類の放射性物質の分析を実施
- 台湾への輸出酒類の分析・証明書を発行
- 日EU・EPAの発効を受け、EU向け日本ワインの証明、自己証明業者の承認業務を開始

### 酒類に関する知識・魅力の発信

- 消費者向けに各種広報資料を発行
- 酒類に関する知識・魅力を伝えるメルマガを配信
- 酒類の商品知識や品質管理に関する研修に講師を派遣
- 海外向けに広報資料を作成



### 海外のコンクール・教育機関等への協力

- International Wine Challenge(IWC)等の海外のコンクールへ審査員を派遣
- 教育機関等への協力  
日本酒に関する国外の専門家を養成するためのプログラム等に協力

## 酒類総合研究所による技術支援②

### 清酒の品質劣化の防止に資する研究

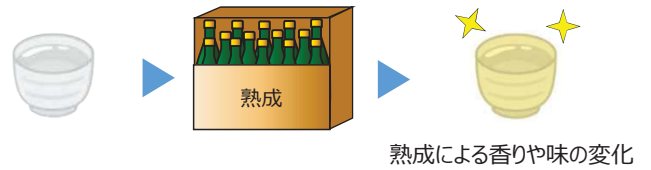


#### 【施策の概要】

清酒は温度による影響を受けやすいため、輸出時等に品質を維持して流通させることが難しい。  
劣化臭の原因物質を生産しにくい酵母の実用化や温度変化の影響の解析をもとに、品質を維持しつつ輸送する方法（常温、冷蔵等）を検討する。

流通・製造双方から劣化防止のための方法を開発

### 清酒の長期熟成による影響を解明する研究

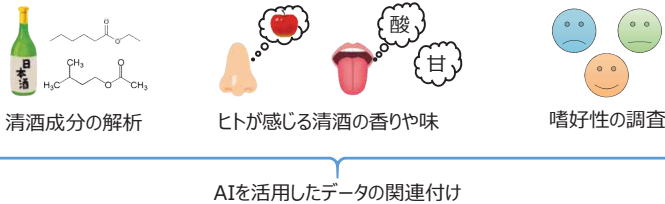


#### 【施策の概要】

長期熟成による経年変化により、どのような成分が長期熟成酒の特性を生み出すか解明する。  
また、熟成環境の異なる長期熟成酒の成分分析により、熟成方法による成分の違いを解析する。

長期熟成の品質への効果を明らかにし、ブランド化につなげる

### 清酒の成分と人の嗜好の関係性を解明する研究



#### 【施策の概要】

清酒成分等の科学的な解析及び嗜好性の調査を行い、清酒成分とヒトが感じる香味や嗜好性の関係性を解明する。  
また、清酒成分から香味や嗜好性を予測モデルを構築することで、製造者の新商品開発に寄与する。

嗜好性等の予測モデルを構築し、新商品開発に寄与

### 清酒の地域特性に関する研究



#### 【施策の概要】

GI等において重要な概念であるテロワールについて、清酒での概念形成を検討するため、国内各地の原料等の特徴が清酒の品質等に与える影響について解析する。  
また、得られた科学的知見から特性を生かす製造技術を開発する。

地域特性の視点から品質等を解析し、ブランド化につなげる

## 酒類総合研究所による技術支援③

### 麹菌が生み出す日本産酒類の特性を解明する研究



#### 【施策の概要】

麹菌の遺伝子解析等により、清酒や焼酎の製造工程や香味に影響を与える遺伝子特性等を明らかにすることで、海外の酒類では使用されていない、麹が生み出す清酒や焼酎の特性を明らかにする。

麹の国際的な認知度向上に寄与

### 日本産蒸留酒の特徴を解明する研究



#### 【施策の概要】

日本の焼酎等の香味を分析し、その特徴を明らかにしてブランド価値向上に貢献することで、世界の蒸留酒の中で日本産蒸留酒というジャンルの確立に寄与する。

蒸留酒として国際的なジャンル確立に寄与

### 日本ワインに関する研究

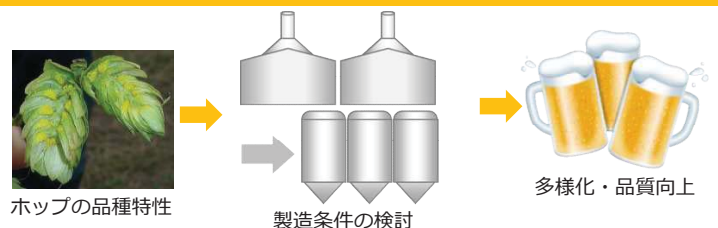


#### 【施策の概要】

原料ブドウの栽培条件や気候条件とワインの成分について解析し、日本ワインのテロワール概念を形成する。

日本ワイン独自の「テロワール」を解明

### 日本産ビールに関する研究



#### 【施策の概要】

ホップの品種特性、使用方法等がビールの香味特性や品質劣化、泡持ち性等に与える影響を解析し、品質の多様化と安定性に資する製造条件を検討する。

日本産ビールの多様化・品質向上に寄与